尾張北部医療圏における救急医療体制の課題等について

課題及びこれまでの取組

- 救急医療における適正受診
- → 適正受診にかかる普及啓発の実 施
 - 各市町広報紙への掲載
 - ・各市町ホームページへの掲載
 - ・春日井市は、平日夜間急病診療 所を移転したことをパンフレッ ト等作成するなどの広報
 - ・各市町救急の日に関するイベン トの広報
- 江南厚生病院における開業医(小児 科医)による休日小児診療の実施
- 春日井市民病院の敷地内に休日・平 日夜間急病診療所を移設すること による一次機能の強化と病院の負 担軽減

データの推移

増加数 増加率 平成22年度 平成23年度 平成24年度 平成25年度 傷病 H25-H22 | H25/H22 軽症 12,822 14,937 14,653 15,205 2,383 118.6% 尾張北部 中等症 9.795 9.649 10.609 11,142 1.347 113.8% 2.644 2.252 1.895 **▲** 612 重症 2,507 75.6% 515 509 90.2% 死亡 564 610 **▲** 55 計 25,688 27,745 28,124 28,751 3,063 111.9%

	傷病	平成22年度	亚式22年度	平成24年度	亚成25年度	増加数	増加率
	あ7内	十队22十及	十成23千及	十八244月	十成25十及	H25-H22	H25/H22
	軽症	143,547	154,233	157,446	160,185	16,638	111.6%
全県	中等症	92,135	96,131	97,251	101,044	8,909	109.7%
	重症	19,914	20,110	18,691	18,086	1 ,828	90.8%
	死亡	4,262	4,437	4,284	4,143	▲ 119	97.2%
	計	259,858	274,911	277,672	283,458	23,600	109.1%

	傷病	平成22年度	亚成22年度	平成24年度	平成25年度	増加数	増加率
	あ7内	一次22千及	十八23千尺	十八/24十尺	十灰25千及	H25-H22	H25/H22
	軽症	2,507,560	2,612,920	2,644,751	2,667,527	159,967	106.4%
全国	中等症	1,911,890	1,997,674	2,042,401	2,108,748	196,858	110.3%
土凹	重症	478,538	484,583	477,454	474,175	4 ,363	99.1%
	死亡	76,425	78,973	81,134	78,161	1,736	102.3%
	その他	4,293	4,712	4,562	11,506	7,213	268.0%
	計	4,978,706	5,178,862	5,250,302	5,340,117	361,411	107.3%

※名古屋医療圏及び全県は医療福祉計画課調査(年度集計)、全国は「救急救助の現況」(消防庁、暦年集計)

【年齢別救急搬送件数】

【救急搬送件数】

増加数 増加率 平成22年 平成23年 平成24年 平成25年 年齢 H25-H22 | H25/H22 尾張北部 18歳未満 2,562 2,943 2,782 2,754 192 107.5% 18歳以上65歳未満 9.799 10,421 10.182 10,202 403 104.1% 65歳以上 13,330 14,408 15,162 15,799 2,469 118.5% 25.691 27.772 28.126 28,755 3.064 111.9%

ſ		年齢	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	増加数	増加率
l		十四円	平成22年	十成23年	干风244	平成25年	H25-H22	H25/H22
	全県	18歳未満	25,959	22,514	27,471	27,194	1,235	104.8%
l	土宗	18歳以上65歳未満	105,309	114,726	109,442	108,426	3,117	103.0%
		65歳以上	132,053	142,296	148,349	155,524	23,471	117.8%
		計	263,321	279,536	285,262	291,144	27,823	110.6%

	年齢	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	増加数	増加率
	→ 因T	十八22十	十八23十	十八八八十	十八25千	H25-H22	H25/H22
全国	18歳未満	456,177	464,098	469,158	466,580	10,403	102.3%
土凹	18歳以上65歳未満	1,984,795	2,022,183	1,994,538	1,972,433	▲ 12,362	99.4%
	65歳以上	2,537,734	2,692,581	2,786,606	2,901,104	363,370	114.3%
	計	4,978,706	5,178,862	5,250,302	5,340,117	361,411	107.3%

※尾張北部医療圏及び全県は「愛知県消防年報」(消防保安課、暦年集計)、全国は「救急救助の現況」(消防庁、暦年集計)

分析

尾張北部医療圏の平成 25 年度の救 急搬送件数は、全体で平成 22 年度と 比べ 3.063 件 (+11.9%) 増加している。

○ 特に軽症患者と中等症患者の救急搬送件数の増加が大きく、軽症患者は 2,383 件(+18.6%)、中等症患者は 1,347件(+13.8%)増加している。

○ 尾張北部医療圏の平成 25 年の年齢 別救急搬送件数は、「65 歳以上」で平 成 22 年と比べ 2,469 件 (+18.5%) 増 加している。

<参考:65歳以上人口>

平成 22 年度 平成 25 年度 名古屋 151 千人 \rightarrow 169 千人 (+11.9%) 全県 1,492 千人 \rightarrow 1,647 千人 (+10.4%) 全国 29,246 千人 \rightarrow 31,898 千人 (+9.1%)

※尾張北部療圏及び全県は「あいちの人口」、 全国は「人口推計」(総務省)、各年 10 月 1 日現在

	- 1117h
課題及びこれまでの取組	データの推移
	1

- 救命救急センターで受け入れてい る軽症及び中等症患者の2次救急病 院での受入促進
- → 搬送病院選定の適正化
- ・傷病者の搬送及び受入れの実施に関する基準の策定 (平成 23 年 12 月策定、 平成 24 年 4 月 1 日運用開始)
- 【救命救急センター(大学病院含む)への救急搬送件数】

	傷病	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	増加数	増加率
	あ7円	一,从22千及	十成20千皮	十八24千尺	一次20千皮	H25-H22	H25/H22
	軽症	3,467	3,319	2,355	2,445	1 ,022	70.5%
尾張北部	中等症	2,645	2,427	3,452	3,778	1,133	142.8%
	重症	482	551	811	634	152	131.5%
	死亡	141	120	144	119	▲ 22	84.4%
	計	6,735	6,417	6,762	6,976	241	103.6%

※医療福祉計画課調査(年度集計)

【2 次救急病院への救急搬送件数】

	傷病	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	増加数	増加率
	あ7円	一次22一及	十八20千尺	十八八八十八人	一次20一尺	H25-H22	H25/H22
	軽症	10,726	12,177	12,789	13,240	2,514	123.4%
尾張北部	中等症	7,285	7,473	7,445	7,494	209	102.9%
	重症	2,098	2,013	1,386	1,190	▲ 908	56.7%
	死亡	428	483	437	424	4	99.1%
	計	20,537	22,146	22,057	22,348	1,811	108.8%

※医療福祉計画課調査(年度集計)

【救命救急センター・2 次救急病院の時間外患者数 (ウォークイン)】

	種別	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	增加数 H25-H20	增加率 H25/H20
尾張北部	救命救急センター (小牧市民病院)	27,276	30,387	27,417	26,543	25,341	23,994	▲ 3,282	88.0%
	2次救急病院	64,778	78,070	74,033	73,804	67,594	66,027	1,249	101.9%
1	計	92,054	108,457	101,450	100,347	92,935	90,021	2 ,033	97.8%

全県	種別	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	增加数 H25-H20	增加率 H25/H20
土乐	救命救急センター	020.406	1 047 746	022 071	010.005	000 020	051.000	A 00 220	00.6%
	2次救急病院総数	939,426	1,047,746	932,871	919,985	900,030	851,088	▲ 88,338	90.6%

※医療福祉計画課調査(年度集計)

※平成21年度は、インフルエンザの流行により、時間外患者数が急増したため、基準年は平成20年度としている。

【休日急病診療所患者数】

372	☑成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	増加数	増加率
尾張北部 □ ̄	1%20 T 1X	1	1 次22十尺	1 残20 干及	1	1 7%20 — 1%	H25-H20	H25/H20
	23,918	31,083	25,114	25,727	24,281	24,469	551	102.3%

全県	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	增加数 H25-H20	增加率 H25/H20
	268,267	332,728	279,197	293,113	304.931	299,249	30,982	111.5%

※地域医療連携に係る実態調査(医療福祉計画課、年度で集計)

○ 尾張北部医療圏の救命救急センターへの 25 年度の救急搬送軽症患者については、2,445 件で 22 年度と比べ▲ 1,022 件の大幅な減少となっているが、その反面中等症患者は3、778件と1,133件の大幅な増加となっている。

分析

反対に、2次救急病院への25年度の 軽症患者については13,240件で、22 年度と比べ2,514件の増加となってい る。また、中等症患者については、7,494 件で、さほど変動がない状況。

尾張北部医療圏の救命救急センター及び2次救急病院の平成25年度の時間外患者数は、平成20年度と比べ救命救急センターで3,282件(▲12%)の減少、2次救急病院で1,249件(+1.9%)の増加となっている。

○ 休日急病診療所の平成 25 年度の時間外患者数は、平成 20 年度と比べ微増の状況。

課題及びこれまでの取組

新生児搬送の圏域内完結率が著しく低下 【ハイリスク新生児搬送受入件数等】 しているが、NICUの整備は困難であり、現 状以上の圏域内受け入れはほぼ不可能。

また、特に春日井市民病院を有する医療 圏内東部地域においては、ハイリスク母 体・新生児搬送ともに、ほぼ名古屋・尾張 東部に頼らざるを得ず、この地域の体制を どう維持するか。

喫緊の事項として、小牧・春日井地区の 産科医療機関の重大な関心事項として、抜 本的な改革なしに圏域内の受け入れ割合を 急にあげることは難しいため、西部医療セ ンターが今後多数のハイリスク者を受け入 れていただけるかという問題があるが、西 部医療センターにワーキングに出席いただ き、キャパシティについて可能であること は確認できた。

- ○江南厚生病院の GCU の増床
- ○春日井市民病院、小牧市民病院とも人員 不足で現行以上の体制は困難であり、現 在のところ NICU の整備見込みなし)
- ○周産期医療センター間、あるいは周産期 医療センターとそれ以外の分娩実施医療 機関の役割分担、機能連携等が可能かど うか県の有識者会議等に上げていく。

データの推移

【ハイリスク新生児搬送受人件	数等】								
	平成21年度	22年度	23年度	24年	度	25年度	増加数 H25−H2		-
尾張北部医療圏から尾張北部医療圏 の医療機関への搬送	163件	32件	16件		9件	14件	1	49	8.6%
他医療圏から尾張北部医療圏の医療 機関への搬送	145件	9件	4件		9件	5件	1	40	3.4%
小計	308件	41件	20件	1	8件	19件	A 2	89	6.2%
尾張北部医療圏から他医療圏の医療 機関への搬送	36件	125件	117件	14	3件	117件		81 3	325.0%
	平成21年度	22年度	23年度	24年	度	25年度	增加数 H25-H2		-
名古屋医療圏から尾張北部医療圏の 医療機関への搬送	50件	1件	1件		2件	5件	•	45	10.0%
尾張北部医療圏から名古屋医療圏の 医療機関への搬送	5件	89件	73件	8	9件	67件		62 13	340.0%
コロニー新生児搬送受入数	308件	19件	1件		0件	0件	A 3	08	0
【ハイリスク新生児圏域内完結率】	0.4 ** **	00 F III	00/= ==	0.5	#	0.F.#= #=			
/ /	21年度	22年度	23年度	24年		25年度			
件数	163/199件		16/133件	9/15		4/131件			
圈域内搬送割合(%) 愛知県地域完結割合(%)	81.9% 69.8%	20.4% 67.0%	12.0% 65.1%		5.9% 4.2%	10.7% 66.0%			
【医療圏外への新生児搬送数】									
	平成21年度	22年度	23年度	24年	度	25年度	増加数 H25−H2		-
名古屋西部医療センター	2件	70件	56件	6	64件	44件			200.0%
聖霊病院	0件	13件	12件	1	6件	14件		14	
愛知医科大学病院	1件	13件	32件	3	1件	37件		36 37	00.0%
一宮市民病院	29件	23件	12件	2	:3件	12件	A	17	41.4%
【母体搬送受入件数等】									
	平成21年度	平成22年度	平成23年	度	平成24年	度 平成	25年度	增加数 H25-H21	增加率 H25/H
電張北部医療圏から尾張北部医療圏の医療機関への搬送	36件	75件	6	55件	3	6件	27件	A 9	7.
他医療圏から尾張北部医療圏の医療 機関への搬送	0件	6件		9件		6件	13件	13	
小計	36件	81件	7	'4件	4	2件	40件	4	11
尾張北部医療圏から他医療圏の医療 機関への搬送	68件	89件	7	'9件	10	3件	116件	48	17
	平成21年度	平成22年度	平成23年	度	平成24年	度 平成	25年度	増加数 H25-H21	增加率 H25/H
名古屋医療圏から尾張北部医療圏の 医療機関への搬送	0件	1件		0件		2件	1件	1	
尾張北部医療圏から名古屋医療圏の 医療機関への搬送	56件	75件	5	55件	7	9件	81件	25	14
医療圏外への母体搬送数									
	平成21年度	平成22年度	 平成23年	度	平成24年	度 平成	25年度	増加数	増加率

27件

4件

11件

20件

10件

0件

1件

35件

名古屋西部医療センター

愛知医科大学病院

一宮市民病院

聖霊病院

22件

4件

3件

39件

46件

2件

9件

25件

39件

5件

20件

31件

H25-H21

29

19

4

H25/H21

390.0%

2000.0%

88.6%

分析

ハイリスク新生児受け入れについては、平 成22年5月にコロニーの NICU 休止後、平 成24年度以降の受入件数は0件となって いる。

尾張北部医療圏から他医療圏への搬送に ついては、平成21年度と平成25年度では 3倍以上となっている。特に、名古屋医療圏 への搬送については10倍以上、その中でも 名古屋西部医療センターへの搬送が急激に 増加し、その状態が続いている。

ここ数年は、尾張東部医療圏の愛知医科大 学病院への搬送も増えている状況である。

母体搬送受け入れについても、尾張北部医 療圏から他医療圏への搬送については、平成 21年度と平成25年度では2倍弱となっ ている。特に名古屋医療圏への搬送について は1.5倍、その中でも西部医療センターへ の搬送が急激に増加し、その状態が続いてい る。